

みなみさんりく 議会だより



No. 72

令和6年 2月1日発行

特集

一般質問を振り返る P2

放課後児童クラブ定員増	——	〈議案審議〉	P 5
子育て、教育環境の整備を	——	〈補正予算〉	P 6
ここが聞きたい！ 6人登壇	——	〈一般質問〉	P 7
議案一覧	——		P14
物価高騰対策、年内給付に向けて	——	〈補正予算〉	P15
新委員会構成決定	——		P15

《表紙》

1月7日に行われた
二十歳の輝き式典の様子。
感謝を胸に未来へ！

特集

一般質問

を振り返る

議会の華
…とも呼ばれる

議員側が自由に題材を設定できる一般質問こそ議会の華、と呼ばれることもあります。今回の特集では、どんな議論が繰り広げられているか、その一端をご紹介します。

一般質問とは？

- ・ 定例会議のみ(年4回)
- ・ 事前に質問を通告する
- ・ 何度でも再質問できる
- ・ 制限時間は90分
- ・ 議案審議と違い、内容を質問者が決められる
- ⇒ ここがポイント!

答える側には反問権も

答弁者は、質問者の持つ情報があやふやな時などに反問できます。しかし、「ではどうすればいいのですか?」というような反論はできません。

研修も受けてきました

8月、県の町村議員セミナーで一般質問が取り上げられました。講演では一般質問で言いたいことが、反省しながら、議会の質を上げていくために、こういった研修の機会をこれからも大切にしていきたいです。

大切なのは事実と分析に立脚すること

分野別の一般質問件数

(令和3年12月～令和5年9月)

行政事務・財政	21
防災・消防	18
商工業・観光業	15
教育	14
道路・交通	12
ノンジャンル	9
工事・災害復旧	8
子育て	8
健康・コロナ対策	7
農林業	5
漁業・水産業	2

分野で分けると、やはり行政の監視機能である議会として、事務や財政に関する質問が最多です。命や財産を守るための防災関連の質問も多いですね。

例えばこんな質問が

みなみさんりく 議会だより お知らせ
12月会議は12/5(火)から始まります!
【12月会議】 開催時間：午前10時～午後4時
一般質問：12月5日(火) 12月6日(水)
議案審議：7日(木)～9日(土) 10日(日)

一般質問の日程はホームページに



佐藤雄一議員

質問の要旨

大規模災害やトラブルに備えて、水界(みずさかい)からの送電ルートを確認しておく考えは?

回答の要旨

電力会社と話をすること



及川幸子議員

質問の要旨

4カ所の高齢者施設へ町有地を無償貸付しているが、収益をあげられるよう有償化すべきでは?

回答の要旨

町有地は公共性の高い

行政事務・財政

令和5年9月会議↓No71
「このままでいいのか町有地貸付は」

解説

団体には無償貸付できる。当初からのその契約を見直す必要はないと思う。土地の有効活用という観点での質問。公共性の高さが焦点でした。

防災・消防

令和5年3月会議↓No69
「万が一のライフラインの整備は」

解説

これは町の所掌事務の範囲を越えた議論になりましたが、やはり防災への関心は高く、質問数も多いです。



須藤清孝議員

質問の要旨

生徒会活動や校則と向きあうことは生徒にとって大切では?

回答の要旨

実際に生徒総会で変わった校則もある。自主性



伊藤俊議員

質問の要旨

度重なる感染症拡大に対する地域活性化策は?

回答の要旨

新しい生活様式を踏まえた事業の施設整備、販路拡大を支援。次世代の

商工業・観光業

令和4年3月会議↓No65
「産業基盤を強化するために」

解説

人材育成のため「南三陸塾」も立ち上げ準備中。コロナ禍での地域経済浮揚策を問う質問。回答にある塾は「みなゼミ」として現在開講中です。

教育

令和4年6月会議↓No66
「自己肯定感をどう育んでいくのか」

解説

を高め、自己肯定感を育めるよう取り組む。学力以外の深い学びを期待しての質問。同時にLGBTや複式学級についても触れていました。



今野雄紀議員

質問の要旨

野原をイメージした庭メドウガーデンの手法で公園を管理しては?

回答の要旨

決して楽な手法ではなく、手間と経費は相当か



三浦清人議員

質問の要旨

保育無償化、出産祝金の増額など思い切った施策を取るべきでは?

回答の要旨

課題の一つと受け止め、国の支援メニューを注視

子育て

令和5年3月会議↓No69
「人口減対策、子育て支援策は」

解説

こども家庭庁が発足するタイミングでの質問。子育て支援はしたいが財源確保が課題、というやり取りがありました。

ノンジャンル

令和4年9月会議↓No67
「メドウガーデンで町づくりを」

解説

かる。今は全く検討していないが、提案としては受け止める。一般質問は政策提案の場にも。多様な意見が集まることは重要です。

増員定員クラブ児童後課放

議案
審議
12月定例会議



よりのびのび過ごせる空間に。



問 (及川幸子議員) 戸倉地区の定員の見直しは。
答 志津川地区、歌津地区とも小学校2校が対象。戸倉地区は戸倉小学校1校であり今回増員は考えていない。
問 (須藤清孝議員) 増員を行う理由は。
答 志津川、歌津地区での施設拡張工事が終了したことによる。

問 (今野雄紀議員) 放課後児童クラブの活動エリアは教室内に限定されるのか。周辺の教育施設の活用も考えては。
答 夏休みはプールに行ったり自由に活動している。活動エリアに縛りはない。
問 (伊藤俊議員) 改正に伴う職員の配置に変更はあるか。
答 志津川、歌津地区とも1名ずつ増員され、それぞれ4人の支援員が配置される。

問 (及川幸子議員) 対象となる支援予定者は。
答 今後6か月ぐらいで数名である。他市町村や社保から転入があった場合はその方も該当になる。
問 (今野雄紀議員) 減額の対象者は出産する方のみとなるか。
答 そのとおりである。
問 (後藤伸太郎議員) 減額の幅は。手続により出産される方への負担を少なくする配慮を。
答 個人毎に減額の幅は異なる。手続についてはご指摘のとおり配慮したい。

出産時の負担軽減 (国民健康保険)

令和5年11月1日以降に出産した方の国保税が減額される。



議員の訴訟案件は現地調査を

条例改正や補正予算ばかりでなく、町に対する訴訟の和議案も議決議案になったりします。議案第40号がそうです。↓p.14
一部係争中の内容もあるため詳細は掲載できませんが、審議するために現地を見た方が良く、と三浦清人議員から提案があり、町当局と調整のうえ議決前に現地調査を行いました。議案は原案どおり可決し、一部で和解が成立する見通しです。



行政事務・財政

タイムリーな内容も扱います
令和5年3月会議↓No.69
「総参加の町づくりを」
新総合計画策定のタイミングで質問。



農林業
令和3年12月会議↓No.64
「米価下落への支援策は」
農家へのコロナ対策発表のタイミングで質問。



そのあと どうなった?
道路・交通
令和3年12月会議↓No.64
「町民バスの利用状況と課題」



同じ議会で3議員が同時質問
令和5年3月会議↓No.69
「強いリーダーシップを」
「不祥事の顛末は」
「目指す教育は」



教育
令和4年末に起きた中学校での書類紛失事案について、教育行政への不安を払拭するため、3議員がそれぞれの立場から質問。連携して課題を浮かび上がらせました。

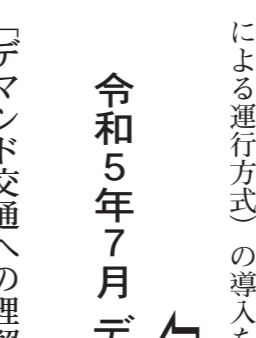


解説
「不祥事の顛末は」
「目指す教育は」



道路・交通
令和4年6月会議↓No.66
「町道整備路線の優先度は」

質問から動き出す施策
質問の要旨
改修要望のある町道を点数評価し、優先順位を一覧にして公表し得るよう、見える化を図りたい。
回答の要旨
検討する。時間はかかると思うが町民が納得できるように、見える化を図りたい。
現在
この「見える化」は、まだ公表には至っていませんが、今後、町道管理計画等の策定に向けた検討をする動きへとつながっています。



道路・交通
令和5年7月デマンド交通導入
令和5年9月会議↓No.71
「デマンド交通への理解は」

質問の要旨
公共交通の課題解消のため、デマンド交通(予約による運行方式)の導入を検討しては?
回答の要旨
意外にも電話より端末による予約が多い。十分な周知を行い、先進事例の導入も検討していく。
解説
同じ行政課題について繰り返し質問する場合もあります。提案が実現した後も追跡して、新たな課題について考える姿勢が大切です。
これから各議員の一般質問にご注目ください!

育英資金の返還

問 (伊藤俊議員) 現在滞納者はいるか。今後給付型育英資金貸付制度導入の考えはないか。
答 現年度、過年度分ともに滞納がある。当町では病院の医師、看護師に対する給付型の制度はある。移住定住策に基づく給付型の制度導入は検討されていない。
問 (及川幸子議員) 工事の維持管理、利用等について住民と十分話し合いをして行っているか。
答 工事の実施及び施設の維持管理、利用等について住民と十分話し合いをして行っている。

石浜防潮堤全容は

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

6人の議員が 11件について

行いました。

「各議員の質問内容」

1 阿部 司 議員……8ページ

- ①農地の「地域計画」をどう進める
- ②障害者への「合理的配慮」義務化の対応は



2 後藤伸太郎 議員…9ページ

- ①まちの将来像の再検討を
- ②職員数、足りてる?



3 佐藤 雄一 議員…10ページ

- ①周辺道路の雨水対策と道路の拡張工事の計画は
- ②橋梁の架け替えの計画は



4 伊藤 俊 議員……11ページ

- ①自然環境変化に対応する農林水産業の振興施策を
- ②地域福祉計画の策定と地域福祉の充実について



5 須藤 清孝 議員…12ページ

- ①遊休農地の現状と対策は



6 及川 幸子 議員…13ページ

- ①復旧工事は復興税のお蔭で感謝する
- ②道路管理計画を策定して維持管理



今回から、各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのページにQRコード及び時間を掲載しています。お手元のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生して、掲載してある時間(1' 10" 10 など)に移動することで、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。

2 施設の指定管理者決定



スポーツ交流村

平成の森

南三陸スポーツ交流村
ウエルネスパートナーズ

太平洋ビルサービス

令和6年4月からの5年間

問 (今野雄紀議員) 会社側から新しい取組みの提案があったか。

答 キッズ、お年寄り向けの企画提案があった。地元とのコラボ要請も複数あったとのこと。

問 (伊藤俊議員) 地域振興や文化施設面での新たな提案は。

答 町内宿泊施設を活用した合宿の受け入れ等の提案があった。文化芸能の分野も連携していく。

問 (及川幸子議員) 宿泊施設の稼働率は。

答 団体は回復傾向にあるが個人はコロナ禍前まで回復していない。

問 (今野雄紀議員) 指定管理者に町内企業の応募がなされるよう配慮できないか。キャンプ場利用の推移は。

答 町内外から多くの応募があることが望ましい。キャンプ場は令和4年度161件、633人の利用があった。

正 算
補 予

12月定例会議

子育て、教育環境の整備を

こども家庭庁発足
ニーズの把握は
〈児童福祉費〉

問 (後藤伸太郎議員) タウンミーティングの計画はどのような状況か。
答 現在協力者と協議中で今年度中に実施する。

デジタル教科書
に予算大幅増
〈教育振興費〉

問 (須藤清孝議員) 教育振興費の増額要因は。
答 指導用の教材がデジタル化されセットになっており、今後も拡大が見込まれる。

不登校対策は
〈教育費〉

問 (三浦清人議員) 不登校の要因と対策は。
答 県・全国の出現率よりは低いが増加傾向にある。学びを止めない努力をする。

こども まんなか

歌津中学校改修予算は
〈中学校費〉

問 (後藤伸太郎議員) 歌津中の工事遅れの理由は。
答 確実な調査のもと精巧な建築を行うため今年度は調査確認を行う。

他にはこんな質疑も
ふるさと納税、制度
改定の影響は
〈総務管理費〉

問 (伊藤俊議員) ふるさと納税の状況と返礼品の対応は。
答 制度改変により年度末にかけ増加が見込まれる。返礼品に対する内容は事業者と協議を進めている。

介護保険

問 (及川幸子議員) 介護報酬が改正されているが内容は。
答 利用者と町が両負担しており3年に1度の改正になっている。

農地の「地域計画」をどう進める

町長 町を4地区に分け地域担い手確認を行う



問 当町における営農意向調査の結果と課題は。

答 農家2348戸を調査し516戸の回答を得たが78%は後継者が無く、54%が10年後には離農を考えている。また、課題としては新規就農者の確保と考える。

問 当町の水田整備率は20a規模での比較は22%と県平均の72%を大きく下回り水稲専作では不利地域と考えるがどのように進めるか。

答 高収益作物を組入れ高所得安定経営を図る。

問 今後の担い手課題には他産業並みの人件費上昇対応が考えられると思うが。

答 個人経営の場合には新規就農者支援助成金の

活用を考える。

問 今後担い手が更に減少した場合遊休農地の拡大が懸念されるが当町の地理的条件を考えれば「土地利用型農業」と「労働集約型農業」に加え「自然活用型農業」も取り入れるべきと思うが。

答 自然生産物の活用も今後の課題と考える。

問 農家が付加価値を付け価格設定し直売所等に拡大出荷すれば更なる発展も見込めると思うが。

答 コストに見合う価格設定も大切であるが、今後の担い手不足の問題については町としても大きな懸念を抱いている。

問 障害者への「合理的配慮」の現状は。

答 ハード面については震災後の建築で県の福祉の町づくり条例に基づく設計になっておりバリアフリー化している。

問 学校・病院・公民館等の状況は。

答 学校については一部改修を要する所もある。

問 重く負担を伴うことは対象外であるが、比較的対応可能なソフト面の職員対応等については。

答 適切な対応を心掛け

しているが全職員を対象とした対応マニュアル化した研修はこれから行う。

問 町内の事業所等への周知対応は。

答 県の周知もあると思うが町としても広報誌の活用や地域の民生委員の協力を得て浸透を図る。

問 6年4月より義務化されるが5年度の県補助事業が応募者多数あり7月で終了している。町としての対応は。

答 必要性を検討し県への要望を考える。

自然活用

未来に向かって「南三陸型」農業を考えましょう。

QRコードから一般質問の動画が見られます。

問 町総合計画は2年前倒しで第3次へ移行するが、理由は。

答 第2次総合計画は震災復興が最優先だったが、その復興事業が令和4年度で完遂したこと、急速な社会変化に対応するため、前倒しした。

問 どこが変わったのか。

答 前倒しは第2次総合計画を否定するものではなく、そこまで大きな変化はない。これからは、ひとつづくりが最も重要と位置付けている。

問 まちの将来像というキャッチフレーズの部分が「森里海 ひと三陸」から「ひと森里海 いのちめぐるまち 南三陸」に変わる。



門松は日本文化が誇る最大需要品の一つです

まちの将来像の再検討を

町長 ひとと自然、どちらが上ということではない

森里海ひと

今後10年の町の方向性を示すもの。ギリギリまで詰めましょう。

QRコードから一般質問の動画が見られます。1' 10" 10~

問 町の総合計画は2年前倒しで第3次へ移行するが、理由は。

答 第2次総合計画は震災復興が最優先だったが、その復興事業が令和4年度で完遂したこと、急速な社会変化に対応するため、前倒しした。

問 どこが変わったのか。

答 前倒しは第2次総合計画を否定するものではなく、そこまで大きな変化はない。これからは、ひとつづくりが最も重要と位置付けている。

問 まちの将来像というキャッチフレーズの部分が「森里海 ひと三陸」から「ひと森里海 いのちめぐるまち 南三陸」に変わる。

自然より人が優位に立つような、自然への畏敬の念を忘れてしまったかのような、誤ったメッセージを伝えることにならないか。

答 どちらが上か、という議論自体に懸念があるというご意見もいただいた。環境は文化でもあると思う。もつと俯瞰的に考えてもらいたい。生命という観点から見れば、自然より人が優先されるのが正直なところでは。

問 ひとつづくりを前面に押し出すなら、一部だけ言葉を入れ替えず、もつと大きく変える方が良くないか。

答 パブリックコメントを受けて、審議会や専門委員会ですらに丁寧に検討していただく。

人材育成

町長 人材不足は顕著 職員数、足りてる？

問 職員の残業量は。

答 令和4年度は合計で38,543時間で、1人1カ月平均11・3時間。時間外勤務手当の総額は約9千万円。

問 人が減り、業務は増え、労働強度が上がり、さらに休職者が増えるという悪循環だが。

答 人材不足は顕著で業務の見直しは不可欠。新規採用を強化するため、

町独自の採用試験も実施している。

問 残業で疲れて休日は家で休みたい気持ちは分かるが、ぜひ地域行事やイベントに参加して町民の笑顔や元気な姿に触れてほしい。職員のみならずの尊い仕事の成果がそこにあると思うが。

答 職場以外のステージを経験することも大事。ゆとりを持つてほしい。



問 町の総合計画は2年前倒しで第3次へ移行するが、理由は。

答 第2次総合計画は震災復興が最優先だったが、その復興事業が令和4年度で完遂したこと、急速な社会変化に対応するため、前倒しした。

問 どこが変わったのか。

答 前倒しは第2次総合計画を否定するものではなく、そこまで大きな変化はない。これからは、ひとつづくりが最も重要と位置付けている。

問 まちの将来像というキャッチフレーズの部分が「森里海 ひと三陸」から「ひと森里海 いのちめぐるまち 南三陸」に変わる。



夜遅くまで明かりが...

周辺道路の雨水対策と道路の拡張工事の計画は

町長 拡幅等の改良工事に着手する予定



避難道整備

地域住民への負担を軽減してほしい。

QRコードから一般質問の動画が見られます。 2' 11" 10~



問 入谷地区指定避難所への道路整備の考えは。

答 入谷小学校線についても、地区からの整備要望を踏まえ、測量設計業務を実施中、完了後各地権者との用地協議を経て、来年度以降拡幅等の改良工事に着手する予定。

問 避難道路に街灯設置の考えは。

答 道路の形状などにより判断し、地域の実情や要望に応じた照明設備の設置、維持管理に努めていきたい。

問 公民館下の駐車場の雨水対策は。

答 今年度予算において敷地雨水、排水対策工事の実施を予定している。現在中の町班の屯所整備工事を同敷地内で行って



工事が中断している指定避難道路

架替計画

橋梁の架け替えの計画は

町長 劣化や損傷が進んだ橋梁は早期のうちに補修を行う計画

問 小森熊田橋を今の橋があるうちに架け替えを考へはないか。

答 町の橋梁長寿命化修繕計画に基づき、劣化や損傷が進んだ橋梁について早期のうちに補修を行う計画をしている。

問 付近の被災護岸と道路復旧の遅れている要因は。

答 八幡川を管理する県と協議し、11月以降に工事を行う許可を得ている。工事受注者もすでに決定し、今後工事に着手する予定をしている。

問 河川の支障木の伐採の計画は。

答 今年度も引き続き八幡川、新井田川、田ノ浦川の3河川について、堆積土砂および支障木の伐採を実施する計画。

※本文は、原文のとおり掲載しています。

自然環境変化に対応する 農林水産業の振興施策を

町長 連動する施策を人材育成と共に取り組む

環境対応

あらゆる変化の中で、チーム南三陸は生業と人を大切にすることを大切にす町に。

QRコードから一般質問の動画が見られます。 0' 01" 40~



問 海の環境変化について危機感をどのように感じているか。

答 研究機関のデータを見ながら海水温の問題についても本当に厳しいという認識でいる。

問 未利用魚の活用や陸上養殖の可能性は。

答 収益性他多くの課題は山積しているが、施策は検討していく。

問 農業について高温対策の現状は。

答 今までは冷温対策や害虫対策が研究主題だったが、現状出来る工夫は進めながら、関係機関との協議の上、高温耐性の作物導入を検討していく。

問 導入支援や補助事業の方向性は。

答 種の苗についてまだ不透明な状態ですすぐには難しいと考える。

問 自伐型林業の促進、今後の林業施策は。

答 森林管理制度に基づき、今年度から民有林の調査、集約化、間伐等を実施。事業の棲み分けをしながら必要な施策を検討していく。

問 小規模林業の担い手こそ今後重要では。

答 従来の山林経営と自伐型は同じテーブルで進めることは難しい。新規参入に対する支援は考えたい。

問 農林水産業と観光施策や移住定住施策の連動の可能性は。

答 森・里・海の豊富な資源を活用し、継続して今後も取り組んでいく。

問 今後の具体的施策は町としても各担当で連携し、一つのチームとして取り組んでいくと思うが現状は。

答 企画課を中心に各課

の連携だけでなく、委託先や委託事業も含め、あらゆる場面や機会を捉えながら、対策や対応を進めていく。

問 農業も林業も水産業も体験ツーリズムも正に人が資源。「いのちめぐるまち南三陸」らしい〈ひとツーリズム〉の促進を。

答 町にいろいろな方が関わっているのは地域の方々との密な連携があるからであり、その取り組みは今後も大事にしていきたい。

他に『地域福祉計画の策定進捗と地域福祉の充実について』も質問を行いました。誌面の都合上掲載出来ませんでした。

詳細は、上記QRコードからご覧ください。

※本文は、原文のとおり掲載しています。



一般質問

ここが聞きたい



人も、産業も、いのちも、全てめぐる町、南三陸に

遊休農地の現状と対策は

町長 増加傾向だが、中心的担い手が具体的な検討を進めている



農地の活用

農業に興味を持っている人は意外と多い。一步を踏み出せる後押しは何か？

QRコードから一般質問の動画が見られます。1' 31" 30~

問 後継者問題に、明るい手立てはないのか。

答 広く全般を見据え、町として新しい農業への取組みを支援して行く。

問 営農組合が使用する農業機械を新規就農者へ貸し出すことは可能か。

答 現状は町に所有権がある。令和7年の6月に全ての機械類が耐用年限を迎える際に、営農組合へ権利を移す。町内全体の農業の効率化を見れば、民々の間で機械を融通するのは非常に良い取組みと考える。

問 5年で5名の新規就農者がいる。未経験をカバーできる支援策はあるのか。

答 最大で年間150万円の補助制度がある。経費全般を対象とし幅広く使える。また、県やJAが専門知識を持って指導し、経営については町も加わり営農計画を指導しており、関係機関が一体となり支援している。

問 ひとつの考え方で、被災地の地域事情や食育、地域の活性化などの一連をストーリー化し、大手企業と町が手を取り合う事例もある。将来の可能性を感じるが町長の所管は。

答 当町には南三陸ワイナリーというストーリーがあり、意欲のある方が様々な展開をしている。東北ナンパーワンのクロマツの産地にしたいと意気込みを持って取組んでいる方もいる。また、入谷地区で見られるぶどう協議会の立ち上げは、あの意味、個人営農者の集まりの法人である。小さな展開の広がりが出ている現状に、先行き明るいと感じている。



地域での農業に未来がある

※本文は、原文のとおり掲載しています。

復旧工事は復興税のお蔭で感謝する

町長 復興交付金事業完了により返還する

震災復興

今回から紙面が変わり皆さまにいっぱいお伝え出来ないことが残念です。

QRコードから一般質問の動画が見られます。2' 13" 30~



問 震災復興予算約4千億円（12年間）使用したの内訳は。

答 何を根拠に4千億円と話しているのか。

問 質問が悪いと町長にお叱り受けたので確認のため説明を求めます。

答 災害復旧費総額で3・990億円となる。復興交付金1・220億円の内実績により111億円返還、おおむね実施済。返還金が使えないがまだ未整備の地区がある。例えば西戸地区である。

答 2本の橋が1本になったのは地区の合意形成があった。道路は交付金でやりかねたので町の予算維持工事費で検討。

問 「西戸地区入口」の看板設置の要望もある。

答 国道との兼ね合いがあるが設置したい。

問 落沢線は歌津の全議員が声を上げ、地区民も要望書提出済である。

答 現地確認済なので来年度用地調査を実施。

問 調査して7年度実施出来るのか。

答 予算の関係があるのでもここまでは答えられない。

問 伊里前漁港にあった荷さばき場や冷蔵庫など未復旧の経緯を聞く。

答 復旧工事は終わっている。漁協が再建するのであれば6分の5が国、6分の1が受益者負担であればやれる。

問 魚竜館等の復旧計画と今後の推移を聞く。

答 30年と31年の質問で「わかった」と言っただけはないか。この場所で答弁は控える。

道路整備

道路管理計画を策定して維持管理

町長 入谷1号線はあと10年かかる予定

問 地方自治体は道路整備計画作成すべきと認識しているが、当町は出来ているのか。

答 計画ないが適宜計画を策定し整備していく。

問 入谷1号線は以前から「最優先ですべき」と議員の暗黙の了解だったが完成はいつ頃か。

答 1号線を優先するがあと10年かかる予定。

問 町道蒲の沢3号線未舗装があるので整備を。

答 60名の参加と震災経験を活かした避難行動自分身の命を守る訓練だった。

問 生活道路を優先する。毎年子供達200名程度の体験農園させている。観光振興から是非必要。

答 舗装修繕工事に実施に向け現地調査を進めたい。

問 防災訓練をさんさん商店街で実施したが、観光客を巻き込み問題行動を確認すべきでは。



いつまでも繁盛される商店街に期待

※本文は、原文のとおり掲載しています。

物価高騰対策、年内給付に向け急ぎよ臨時会議

**補正
予算**
12月臨時会議

・食料品などの物価高騰の影響による経済的な負担の軽減を図る。
・18歳以下の児童を養育する保護者に対し、児童一人につき1万円の給付。

① 子育て世帯への支援
……1,500万円

エネルギーや食料品など、物価高騰の影響を受けている町民や事業者の支援を目的として、補正予算の審議が行なわれ原案どおり可決されました。町民の生活負担を和らげる効果のあるものとして提案された5つの事業費は1億2,910万円で、予備費も活用されました。そして、町民みなさまへ迅速に支援を届けられる事になりました。

・原油価格の上昇に伴う電気料金の高騰による経営圧迫の負担軽減および、経営継続を図る。
・飼養している乳用牛1

④ 酪農家への支援
……168万円

②の対象外の世帯・130世帯に対し、町上水道基本料金(3カ月分)に相当する金額5,610円の助成。

③ 町上水道未普及世帯への支援
……74万円

・電力・ガスなどの物価高騰の影響による経済的な負担の軽減を図る。
・水道基本料金4,820件、3カ月分の減免。令和6年1月から3月までの基本料金の減免。

② 町民及び事業者への経済的負担軽減
……3,150万円

・住民税非課税世帯および令和5年1月以降の収入が減少し、住民税非課税相当の収入となった世帯に対し7万円の給付。

⑤ 低所得世帯への生活支援
……8,018万円

問 (今野雄紀議員) 事業全体の給付までの期間の見通しは。
答 家計急変世帯1,000世帯は年内、その他は100世帯を見込んでおり、年明けになる。また、手続きを必要とする事業に関しては、申請から2週間以内を目途に給付する。

・電力・ガスなどの物価高騰の影響による経済的な負担の軽減を図る。

・町内に住所を有し酪農を営む農業者で、令和6年度も酪農経営に取り組み意思を有する方。

40頭に対し1頭につき1万2千円の支給。
・町内に住所を有し酪農を営む農業者で、令和6年度も酪農経営に取り組み意思を有する方。

任期あと2年の委員会構成で頑張ります。

新委員会構成決定

総務産業建設
常任委員会

委員長 佐藤正明委員
副委員長 須藤清孝委員
委員 及川幸子委員
佐藤雄一委員
阿部 司委員
伊藤 俊委員

民生教育防災
常任委員会

委員長 村岡賢一委員
副委員長 後藤伸太郎委員
委員 菅原辰雄委員
三浦清人委員
今野雄紀委員
高橋尚勝委員

議会運営委員会

委員長 後藤伸太郎委員
副委員長 村岡賢一委員
委員 佐藤正明委員
須藤清孝委員
高橋尚勝委員
阿部 司委員



12月定例会議 議案一覧 20件

(条例9件・工事3件・財産1件・和解1件・指定2件・予算4件)

条例	議案第25号	町職員(一般職~任期付研究員)の採用・給与及び勤務時間の特例に関する条例の一部改正(給与改定について)。
条例	議案第26号	常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正(期末手当の支給割合の改定について)。
条例	議案第27号	町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正(期末手当の支給割合の改定について)。
条例	議案第28号	国民健康保険税条例の一部改正(出産被保険者に関する規定の変更について)。→P.5
条例	議案第29号	育英資金貸付基金条例の一部改正(返還期間の見直しについて)。→P.5
条例	議案第30号	放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正(放課後児童クラブの定員変更について)。→P.5
条例	議案第31号	長期継続契約に関する条例の一部改正(借入物品や役務提供契約の所用改正について)。
条例	議案第32号	会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正(給与改定の実施時期の定め)。
条例	議案第33号	会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正(勤労手当の支給について)。
工事	議案第34号	町道横断1号線道路改良工事を阿部藤・サトーJVと1億6,280万円で請負契約締結。工期は令和6年3月29日まで。
工事	議案第35号	石浜地区防波堤整備工事を(株)阿部伊組と9,625万円で請負契約締結。工期は令和6年3月31日まで。
工事	議案第36号	石浜地区防波堤整備工事を(株)阿部伊組と430万減額し、1億5,630万円で変更契約締結。工期は6年3月31日まで。→P.5
財産	議案第37号	町道戸倉中学校線の変更について(起点位置の変更)。
指定	議案第38号	公の施設の指定管理者の指定(南三陸町スポーツ交流村)。→P.6
指定	議案第39号	公の施設の指定管理者の指定(南三陸町平成の森)。→P.6
和解	議案第40号	訴訟上の和解について。→P.5
予算	議案第41号	一般会計補正予算(第5号) 1億1,577万円の追加補正。→P.6
予算	議案第42号	国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 56万円の追加補正。
予算	議案第43号	介護保険特別会計補正予算(第2号) 430万円の追加補正。→P.6
予算	議案第44号	市場事業会計補正予算(第2号) 534万円の追加補正。

12月臨時会議 議案一覧 2件(予算2件)

予算	議案第45号	一般会計補正予算(第6号) 1億946万円の追加補正。→P.15
予算	議案第46号	水道事業会計補正予算(第2号)。→P.15

請願・陳情の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、格差のない全国一律最低賃金制度の確立を求める政府に対する意見書採択の陳情
- 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

以上の2つの陳情については、議員に配布しました。

わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「障がい者との共生社会に期待したい」



入谷押館 鈴木 清美さん

新型コロナウイルス（コロナウイルス）が猛威を振るい、行動が制限されていた時期から議場にて傍聴できなくなりました。

議会だよりやインターネット中継もありますが、町民としては緊張感ある議論を直接傍聴することが重要であると感じています。

ここ十数年は議会としても町の震災復興に取り組んでこられたと思います。新しい街ができ、これからは住民それぞれの暮らしに目を向けて頂けるものと期待しています。

例えば、住民の福祉（とりわけ高齢者や障害者）中長期等計画の更新が行われており、令和6年度からは『障害者への合理的配慮の提供』が義務化されます。バリアフリー化とか障害者差別解消法など共生へのハードルは低くなり始めましたが、より暮らしやす

い環境には不十分なことがたくさんあります。

南三陸町には障害者と認定され手帳等を交付されている方は約800人おられます。

議会にもそろそろ町独自の新たな福祉施策を後押ししてほしいし、そのためにはもつと当事者や家族の切実な声を聴いて、課題解決や将来展望を打ち出して頂きたいと願っています。

議会から
貴重なご意見を提言頂き有難うございます。

これから障害者への合理的配慮の義務化が施行され共生社会へと進むと思いますが、具体的な対応については日々の暮らしの中から取り組みが行われると考えます。

議会としても今後は、実効性のある要望実現に努めて参ります。

ライブ映像配信中!

南三陸町議会 議会中継



次回の本会議は 3月開催の予定です。

議会開会中はパソコン・スマホから、リアルタイムでご覧になれます。



編集後記

今回は12月議会の内容を編集しお届けしました。ご協力賜りました皆様に心から感謝申し上げます。今後ともご協力をお願いします。さて元日早々「能登半島地震」が日本列島を襲いました。お亡くなりになられましたご遺族に心からお悔やみ申し上げます。また被災された皆様にはお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興を願ってやみません。

立春を迎えたとは言え、寒さ厳しい時節です。皆様にはご健康に留意されお過ごし願いたいと存じます。共に暖かい春を迎えられますよう心からお祈りします。

議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎
副委員長 須藤 清孝
委員 佐藤 雄一
高橋 尚勝
阿部 司
伊藤 俊

発行責任者 議長 星 喜美男